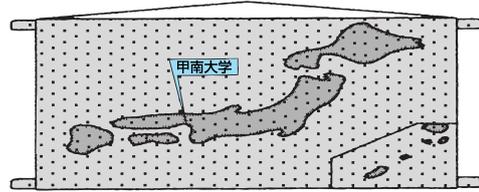


Zephyr

〈第38号〉

ゼフィール・にしかぜ



<http://www.kilc.konan-u.ac.jp>

《特集＊外国語科目・日本語科目優秀賞制度 ～受賞者のことば～》

☆所長からのメッセージ

「外国語科目・日本語科目優秀賞制度」…………… 胡 金定…………… 1

☆受賞者のことば

[ドイツ語]	・外国語学習について……………	細越 祐二……………	2
	・語学学習で広がる世界……………	森 麻衣子……………	3
	・苦手からのスタート……………	横谷みづほ……………	3
[フランス語]	・外国語学習について大切なこと……………	綾部 美記……………	4
	・2言語必修の語学教育……………	太田 周作……………	4
	・授業に真面目に取り組む……………	松井香保里……………	5
[中国語]	・言語学習における毎日の10分間……………	香川 哲也……………	6
	・外国語学習と部活動の両立・困難と充実の日々……………	竹中絵里砂……………	6
	・言葉の息吹……………	森 真弓……………	7
[韓国語]	・語学優秀賞受賞と私の学習方法について……………	池田富久男……………	7
	・語学との出会いに感謝……………	仁科友紀子……………	8
	・語学優秀賞を受賞して……………	船戸 康代……………	9
[日本語]	・外国語学習にチャレンジしましょう!!……………	Willie Costello……………	10
☆外国語科目・日本語科目優秀賞制度のお知らせ……………			11

☆所長からのメッセージ

外国語科目・日本語科目優秀賞制度

国際言語文化センター所長 胡 金定

甲南大学国際言語文化センターは2004年度から全学の学生を対象とした「外国語科目・日本語科目優秀賞」制度(全学の学生に30名の枠、留学生に1名の枠を設けています)を設けました。これまでに、2004年度は5名、2005年度は20名、2006年度は30名、2007年度は27名、さらに毎年度1名の留学生に「優秀賞」を授与しました。毎年6月に表彰式を行っています。

「外国語科目・日本語科目優秀賞」制度の創設目的は、学生に積極的に外国語学習を奨励し、外国語学習意欲及び外国語能力を高め、1言語だけではなく、少なくとも2言語以上の複数言語の習得にあります。甲南大学では基礎第1外国語英語と基礎第2外国語(ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語の中から1言語選択)を必修科目としています。外国語優秀賞の対象となる学生は3年間以上在学し、3年次終了までに①第1外国語英語中級2科目8単位以上②上級英語1科目4単位以上③第2外国語(ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語の中から1言語又は第3外国語)中級2科目8単位④上級1科目4単位以上の修得を最低選考基準としています。夏休み期間中に海外の提携校に勉強に行く「海外語学講座Ⅰ(英語)」、「海外語学講座Ⅱ(第2外国語)または第3外国語」も中級科目とみなします。

2004年度、上記の条件をクリアしている学生は、所定の期間に所定の様式にて申請書を提出する自己申請方式を採用しましたが、2005年度からは、条件をクリアした学生をリストアップして

表彰する方式に変更しました。

制度創設から4年間の結果を顧みたら、予想以上の成果が見られます。まず、学生たちの外国語に対する意識が変わりました。今までは語学能力を身につけるための学習というよりも、卒業に必要な単位をクリアするためという意識が強かったといえましょう。また、国際言語文化センターが取り組む、学習者を中心とした双方向の授業形式や4つの技能「聞く・話す・読む・書く」のバランスのとれた指導が学生諸君に浸透しつつあることが分かりました。

大学で外国語を学習し、将来その外国語を道具として国際交流や外国との仕事を希望する学生が増えています。その学生たちは積極的に語学力を試して、外国人と話したり、海外での生活経験をしたり、語学の資格を取ったりして学生生活を豊かにすると同時に、異文化理解を深め、甲南大学のキャンパスから世界に羽ばたく能力を持つように努力しています。私たち外国語の教員は、そんな学生の姿を見て、更に熱意を感じ学生に丁寧に細かく教える意欲に燃えているのです。

「世界に通用する紳士たれ」の第一歩は外国語を習得するところにあります。毎日少しずつ、粘り強く外国語を勉強していきましょう。

受賞者のことば

外国語学習について

法学部法学科 細越 祐二
(ドイツ語選択)

外国語科目成績優秀賞を受賞し大変嬉しく思っています。英語とドイツ語の勉強を真剣に取り組んだ結果がこういう形につながるとは思っても見なかったことですが、受賞することでさらに外国語の勉強に意欲が湧いてきました。外国語を学ぶということは、その国の文化や歴史を学ぶことにもなるので自分の視野・考え方も広がると思います。これからも外国語の勉強は続けていきたいと思っています。

私は、第二外国語でドイツ語を履修していましたが、その中で特に良かった授業があってそれはマンガを使ってドイツ語の勉強をするというものでした。日本のマンガのドイツ版でしたのですごく興味をそそられましたし、頭にもすらすらドイツ語が入ってきました。マンガという親しみやすい教材を使ってドイツ語の勉強をすることは、とても効率の良い勉強方法だと思いました。勉強を楽しめるようになることが大切であり、外国語を話せたり、読んだりできる近道だと思っています。

英語とドイツ語の2つの外国語を3年間勉強し続けられたのは、私が受けた一つ一つの授業がとても楽しかったからです。基礎外国語から始まって上級外国語を取り終えるまではかなりしんどいことだと思います。途中で興味がなくなってしまうたらなおさらです。しかし、私は興味がなくなるということは最後までありませんでした。それは、基礎から中級、上級と進んでいく中で授業を受けるたびに もっと英語、ドイツ語が知りたいと思ったからです。一人一人の先生の授業方法が良かったからだと思っています。

外国語を学んでいくうちに、そこには日本語とは全く違った言語の仕組みがあり、そこからその国の人の考え方があり、日本人との根本的な部分での考え方の違いがあることを学びました。例を挙げればドイツ語の数の数え方です。21の場合、20と1に分けて数えます。シンプルで分か

りやすい考え方だと思いました。

このように、ただ教科書に載っている単語や文法を頭に入れるだけではなく、言語の裏にあるその国の文化や考え方も同時に学んで行けばより外国語が好きになるのではないのでしょうか。好きになれば外国語学習も続けていけることだと思います。

語学学習で広がる世界

法学部法学科 森 麻衣子
(ドイツ語選択)

私は、英語とドイツ語の両方の初級、中級、上級を履修しました。今回は、私がドイツに留学中であることを踏まえて、ドイツ語、つまり第二外国語との付き合い方に関して私の体験をもとに紹介します。

私は、語学の授業や取り組みへの意識を、試験や単位だけに結びつけることに終わらず、甲南大学のキャンパスを飛び出して世界に踏み出せる確実なステップ台であるというように捉えていました。私は、実際に甲南大学の語学の授業を通して、先生方の協力のもと、こうして今ドイツで生活するチャンスを与えられたわけなので、特にそう感じています。

留学の直前には、担当してくださった先生の叱咤激励のもと受験したオーストリア政府公認のドイツ語試験である ZD 試験にも合格することができました。その試験の内容には、文法やリーディング以外にも、会話の項目があり、一人ではどうにも練習できませんでしたが、先生方が個人的に指導してくださいました。

また、漠然と抱いていたヨーロッパへの憧れをもって参加した、ライブツィヒへの海外語学講座は、ドイツという国への興味をますます深め、留学への決意が固くなるきっかけになりました。その勢いで、授業を通して語学学習に打ち込むことで、留学生としての派遣が決まり、今ドイツに来てドイツ語とドイツの社会を自分の肌で感じられるところまで辿りついたと思っています。

苦手からのスタート

文学部英語英米文学科 横 谷 みづほ
(ドイツ語選択)



まず始めに、このような賞を頂けて、光栄に思います。

私は、英語英米文学科なので英語を主とし、第二語学としてドイツ語を学びました。両方上級まで履修出来たからと言って、語学が得意だったわけではありません。どちらかという、一回生の頃は周囲の出来る人たちに比べて、自身の語学力にコンプレックスさえ感じていました。なぜなら、殆どと言っていいほど、ヒアリングが出来なかったからです。だから、イングリッシュ・フォーラムでは、ネイティブの先生との会話に非常に苦労したことを覚えています。

そんな私がとった勉強方法は、「話す」ことです。というのも、私は机に向かって鬱々と勉強に励むタイプではありません。実践の方が遥かに早く英語（語学）が身につくと考えたからです。

そこで、マンツーマン英会話に一年通いました。授業は対面で、話さなければなりません。先生は辛抱強く私の言いたいことを聞いてくれましたし、仲良くなるにつれて伝えたいことも沢山出てきました。すると、少しずつでしたが語彙が増え、会話を楽しめるようになったのです。このことがきっかけで、以前より前向きにもなれた気がします。そして、学内の留学生歓迎パーティへの参加などを通して、留学生とも買い物をするなど交流を深めました。ドイツ語は、大学で習い始めた語学なので、理解するのに非常に苦労しました。こちら実践重視と海外への興味もあり、三回生の夏に思い切って海外語学講座へ参加しました。ドイツ研修への参加はヒアリングや会話の上達だけでなく、現地の生活、社会基盤、ヨーロッパの生徒との触れ合い、観光など、様々な利点がありました。ドイツ語をもっと深めたい、ドイツを知りたいと思っている方は、思い切って参加してみるといいと思います。毎年1月に行われているドイツ語合宿に参加しておくこともお勧めします。

外国語学習について大切なこと

文学部英語英米文学科 綾部 美記
(フランス語選択)



私は大学4年間、語学学習に積極的に取り組んできました。英語と、第二外国語として選択したフランス語です。外国語を学習する上で大切なことは、視野を広げ楽しむこと、継続することです。私は今まで語学学習を楽しんで学んできました。TOEICなどの資格の学習は難しいですが、学習することによって新しいことを発見でき、より多くの人と会話が交わされるようになりました。またリーズ大学への短期留学も経験し、文化が異なる国で過ごしてみて、コミュニケーションが大切であることを改めて感じました。それからは、以前よりも積極的に外国語を話す機会を自分で探せるようになりました。語学は机に向かって黙々と勉強しているだけでは決して上達しません。自分から新しい何かを得ようと行動し、多くの人と触れ合い、自分で決めたことを続けていくことが上達につながるのだと思います。卒業しても、忙しいことを言い訳にせず、学習に励んでいきたいです。

2 言語必修の語学教育

法学部法学科 太田 周作
(フランス語選択)



ずっと昔からテレビや本の中でしか見たことのない遠い国に行ってみたいと思っていました。大学に入学後、以前から行ってみたい国の一つであるフランスの言語であるフランス語を選択し、そのときから短期留学を目指して勉強していただけたので、表彰式の案内が届いたときには驚き、同時に私のこれまでの努力が留学とはまた違った形で評価されたことを嬉しく思いました。留学するまでの私の学習法は、文法をできるだけマスターした上で単語力をつけていくという

ものでした。しかし、実際に現地で生活してみて、それまで自分が重点的に勉強してきた内容よりも「自分の言葉で表現する力」と「相手の言葉を聞き取る力」がいかに重要であるかということに気づきました。帰国後はその経験を活かし、外国語の上達のためになるべくその言語を使う環境をつくるようにしています。

残念ながら私はフランス語を活かせる仕事には就けませんでした。それでもいつか来る機会のために勉強は続けていきたいと考えています。

私のこれまでの経験からおすすめできる勉強方法は、まず予習・復習をすることです。事前に教科書の単語を調べ、ある程度の和訳をして授業にのぞめば授業がとてもやりやすいものになります。その後に復習として授業中にわからなかった箇所や間違えた部分を見直せば、それだけで教科書の内容は問題なくマスターできるかと思います。その上で毎日少しずつでもいいので熟語集などを用いて勉強を積み重ねていけば確実に実力を伸ばしていけるかと思います。ただ留学を目指す場合は、私自身の経験上、それだけでは足りないので外国語のニュースを聞いたりするなどして、普段からその国の言葉に慣れておいたほうがいいのかと思います。

私はこれまで留学を目指してフランス語を、教養を高めるために英語をそれぞれ勉強してきました。甲南大学の「英語と第二外国語を必修とする語学教育」は、私のように最初から外国語に興味がある学生はもちろん、そうでない学生が外国語に対する興味を抱ける場として非常に有用であり、今後も続けて欲しいと思います。

授業に真面目に取り組む

文学部英語英米文学科 松井 香保里
(フランス語選択)



家に受賞の通知の手紙が来た時は、まさか自分が選ばれるなんて思ってもいなかったもので、本当に驚きました。また、とても嬉しく光栄に思いました。外国語の授業のお陰で、TOEICのスコアも上がりましたし、フランス語も、本当にほんの少しだけですが、読んだり聞いたり話したりできるようになりました。そして、初めて語学を学ぶことの楽しさを感じることができました。高校までの英語の授業は、教科書自体も面白いテキストではなかったし、受験のための暗記ばかりで本当に面倒くさくて、全く面白いとは思いませんでした。でも、大学での語学の授業は、単語や熟語や構文を覚えるというよりも、語学に慣れるといった感じのものでした。例えば、英字新聞の記事や、英語の雑誌、英語で書かれた本を読んでくる宿題が毎週ある授業や、英語のニュースを見てどういった内容なのかを考える授業、字幕なしの映画を毎回少しずつ見て聞いて、何と言っているのかを聞き取る授業がありました。これらの授業は、英語を学びながら同時に英語圏での出来事も知ることができたので、楽しく勉強できました。また、第二外国語で取ったフランス語の授業も、動詞の活用や単語を期末試験の度に覚えて勉強しておけば、2年生くらいで仏検の3級は取れると思います。家での語学の勉強は、英語英米文学科ということもあり英語のテキストを読んでこななければいけない授業が多かったので、大学の宿題以外はほとんどやらなかったです。でも、言い換えれば、授業に真面目に取り組んでいれば、それなりに語学は上達するということです。ですから、授業以外にももっとたくさん勉強すれば、もっと語学が上達すると思いますので、これから語学を勉強される方は、積極的に自分で語学を勉強されたらいいかと思います。大学に入っ

て、語学を学ぶことの楽しさを知ることができて、本当に良かったと思います。それでは最後になりましたが、表彰していただき、ありがとうございました。

言語学習における毎日の10分間

法学部法学科 香川 哲也
(中国語選択)

はじめに、私は大学の掲示板は特に法学部の部分しか確認していなかったもので、外国語科目優秀賞制度というものを知りませんでした。

しかし、この賞を受賞できる旨を聞いたときは、素直に嬉しかったです。

私は中国語インテンシブコースをとっていました。

特にこれと言った有効な勉強方法はしていません。

ただ、2回生の内に必要単位を取り終えようと思ったので、専門科目の授業も詰まっていたが、中国語の授業を1週間に4時間取ることにしました。

はじめの内は、大変でしたが、1週間に4時間も中国語を勉強していると単語や文法も重複する部分が出てきて、相乗効果で4つすべての授業で役に立ちました。

だから、あえて勉強方法を挙げるならば、少しでもいいので中国語に毎日触れることだと思います。

やはり、言語を学習するときは継続が大切であると思います。

これからも、せっかく学んだ中国語を忘れないように毎日すこしでも中国語に触れようと思います。

外国語学習と部活動の両立・困難と充実の日々

文学部英語英米文学科 竹中 絵里砂
(中国語選択)



まずは、このような素晴らしい賞を頂き、今までの大学生活で外国語を教えてくださいくださった先生方に深く感謝致します。

私は、この大学に陸上のスポーツ推薦として入学してきました。スポーツ推薦として入学してきた以上、練習量は高校時の倍以上に増え、特に在学中はスランプを経験したので、精神的にも体力的にもハードな日々を過ごしてきました。その厳しい中でも、私は、外国語学習と部活動を両立する事を目標としてきました。特に大学から始めた中国語には非常に興味を持ちました。初めは、中国語が日本の漢字に似ていることから「読める」という事に満足感を覚え、以後音楽、映画や雑技等中国の文化に触れつつも文字の読み書きを主に学習してきました。特に上級中国語で、「千と千尋の神隠し」を中国語版で見たり、日本のカバー曲を聞いたりして、中国を身近に感じられた事が一番印象強く、またそれが、ここまで熱心に続けてこられた理由かもしれません。

外国語を勉強する事は、言語、風土、文化の違いから、困難で面倒な事に思えるかもしれませ

ん。しかし今こうして私たちが生きている世の中では、毎日多量の情報が飛び交っていて、私たちは海外の情報を瞬時かつ的確に入手できる環境にあります。スポーツ推薦で入学された方々は、海外で活躍している選手を実際目の当たりにしたり、あるいは彼らの練習法に興味を持ったりする事でしょう。そういった些細な興味心で、外国語を勉強してみてもいいのではないでしょうか。大学生活を、充実したものにする為には、今からでも遅くないと思います。

尚、スポーツの話題ですが、来年には北京オリンピックが開催され、中国という国は一際注目を浴びる事でしょう。私はこの大会に是非足を運び、中国の文化や風土を肌で体験してみたいです。

言葉の息吹

文学部日本語日本文学科 森 真弓
(中国語選択)



私は「外国語科目成績優秀賞制度」というものを全く知りませんでした。ひょっとしたら学んだ言語で受賞のあいさつを……と言われるのでは？とひやひやしつつ授賞式に参加しました。そんな要請はなくほっと一息つき、これまで外国語を学んできた3年間を振り返りました。

私は第二外国語として中国語を学んでいました。その中国語の授業で忘れられない瞬間がありました。外国語の授業で誰もが一度は、ひたすら教科書を音読することを経験するでしょう。私ももれなく経験しました。中国語の発音、声調を一語一句なおされながら、つらつら読んでいく。難しかったです。先生の後について何回も言いなおしをしました。やっとOKをもらい、文章を読み進めていったときでした。

「メロディーだ、中国語は音楽だったのか！」

一瞬の出来事でした。読み続けるうちに中国語のメロディーをつかんだのです。言語の息吹を感じたときでした。

それからは中国語の、日本語にはないメロディーを感じるようになりました。音読を楽しむために私がしていたことを、一つ紹介しておきましょう。教科書付属のCD、その後に続いて音読するのです。多少間違えても構いません、誰が聞いているのでもないですから。CDが読み始めたら、ワンテンポ遅れて同じように発音してみる。なんとなくの発音や声調でも、ものすごく読めた気になれます。

中国語は、日本語や英語とは言語のメロディーがまったく違います。CDについて読むだけでも、自分が外国語をしゃべっているのだということを身に迫って実感できます。聞くだけではなく、実際に発音してみて口と耳とで感じる。音読の醍醐味が味わえます。

言語を学ぶのは実用の面もあります。しかし学生時代に学ぶ他言語は、学ぶ喜びを知るツールでもあるでしょう。私はあの言語の息吹を感じた一瞬を一生忘れません。ひたすら音読することで思わぬ僥倖に会うことがあります。ぜひ、言語の息吹を感じてください。

語学優秀賞受賞と私の学習方法について

経済学部経済学科 池田 富久男
(韓国語選択)



受賞の感想は、正直に言うと、まさか自分がこのような賞をいただけるとは信じられませんでした。私が「外国語科目成績優秀者制度」について知ったのは、一回生の韓国語の授業のときです。当時、基礎韓国語を教えていただいた先生からこのような制度があり、あまり知られていない制度であるが、興味をもって勉強すれば取得するのにそこまで難しくないと制度ということ、また、日本語と語順が同じで私たち日本人にとって勉強しやすいという特長を持った韓国語に興味をもっていたこともあり、「英語、韓国語は上級までとろう」とひそかに決めていました。

外国語を勉強する上で重要なのは、勉強方法以前にその国の文化に触れることだと私は思います。なぜかという、その国の風土、生活様式、食文化などについて勉強することでどのような生活環境のもとでその言語が使われているかがわかり、ただ、言語を勉強するよりは興味をもって勉強できると経験上思ったからです。

ここで、私がこれまでしてきた学習方法の中で有効な勉強法について紹介したいと思います。1つは、当たり前ですが、読み書きだと思います。たいてい、どの言語科目も毎回の講義の最初には単語の小テストがあると思いますが、ただテキストに目を通したときとテキストの単語を実際に発音して書いたのとでは後の勉強方法の方が頭に残りやすく効率的に勉強できていると実感しました。2つ目は宿題をしているときや授業中にわからないことが出てきた場合、そのままにしないで、とりあえず自分なりに考えてみて、それでも理解できなければ、先生に質問して疑問点をなくすべきだと思います。

わからないことをそのままにしておくと次に進めませんし、積みかさなることによって「わからない、難しい」と感じ、興味がなくなる原因にもつながると思います。3つ目は一番重要で、毎日10分でもいいのでその言語に触れる機会を毎日もつことだと思います。

最後になりますが「外国語科目成績優秀者制度」は興味を持って上級まで勉強すれば決して難しくないと私は思います。ぜひチャレンジしてみてください。

語学との出会いに感謝

文学部社会学科 仁科 友紀子
(韓国語選択)



好きな韓国語・英語を続けてきて、しかもその事で受賞できるなんてとてもうれしく思いました。ある映画をきっかけに1回生の時から韓国語にはまり、今まで学んできました。韓国語の学習相談アワーに足を運び、そこではできるだけ韓国語だけで会話をしようと努力しました。話す内容を事前に考え、自分なりの言葉で先生と会話します。授業などでわからないところがあれば聞いていました。また、教室にある本を借り、家で時間があるときに勉強しました。CD付の韓国語ジャーナルは、硬い感じではなく気軽に楽しみながら流行の事柄や文法、聞き取りができるので

お勧めです。映画を見たり、音楽を聴いたり、授業の中で韓国文化に触れ、学ぶたびに、ますます興味がわきました。生の韓国語を聞きたいと感じ、ソウル・釜山へ旅行をし、去年の夏には漢陽大学へ短期留学までしました。そこで、毎日韓国語で日記を書くということを決め、実行したことで単語力も上がりました。友達もたくさんでき、振り返れば、毎年一度、4回も韓国に訪れています。

英語の方は授業の中でニュースを見る事が多く、日常英語に触れるたび、洋画に興味を持ちました。時間があるときは、図書館に行き邦画をよく見ていました。耳を鳴らすことで留学生の話も少しずつ聞き取れるようになり、高校まで苦手だった英語も、今では意思疎通できるくらいまで話せるようになりました。

海外の友達をつくりたいと思って続けてきた語学は、現実となりました。学んだ語学で意思疎通できたときの喜びは、自信につながります。自分の目で見て、肌で感じ、経験した事、また、基礎・中級・上級と続ける事で、成長したと実感できました。語学力が伸び悩んだ事もありましたが、語学を継続することで、ますます楽しいものなのだと感じる事ができました。今回、外国語科目優秀賞を頂いたことに感謝しています。頑張った分だけ評価してくれる。そんな制度だと感じました。広い視野を持ち、これからも語学学習に励みたいと思います。

語学優秀賞を受賞して

法学部法学科 船戸康代
(韓国語選択)



大学生活で目標にしていた語学優秀賞を受賞することができ、とてもうれしく思います。

私は、第2外国語科目として韓国語を学んでいました。勉強すれば勉強するほど、韓国語の魅力に惹かれ、去年の夏には海外語学講座に参加しました。実際に韓国で韓国語を使うと、思ったよりもはるかに難しく、言いたいことも通じずとても苦戦しました。しかし、実際に韓国で勉強してみて感じたことは、語学の勉強にはコミュニケーションこそが一番大事なのではないかということです。ぎこちない発音と乏しい単語力でも、韓国人の友達と意思疎通できたときの喜びは今でも忘れることができません。今、私は交換留学生として韓国の大学に通っていますが、勉強のための韓国語ではなく、コミュニケーションのための韓国語であると感じています。

本来、言語というものはコミュニケーションのためにあるものです。教科書とノートで勉強するだけでなく、実際に口に出して使ってみる、そうすることで、また一味違った語学の魅力に触れることができるのではないかと思います。

韓国語だけでなく、英語学習も同じでした。私は、高校時代から英語がとても苦手で、大学でも必修で学習しなければならないことに対して脱力感を覚えていました。基礎英語だけ学習して、中級・上級は絶対に勉強することはないだろうと感じてたにもかかわらず、上級まで英語を学習しようと思ったのは何故なのか。やはり、それは基礎英語でコミュニケーションの楽しさを覚えたからだと思います。基礎英語は、文法中心の授業と会話中心の授業の構成になっているため、高校英語のような堅苦しいことはほとんどなく、スラスラと頭に入ってきます。そういう点で、自分に合ったスタイルで基礎英語を受講でき、本当によかったと思いました。

最後になりましたが、ご尽力下さった先生方に、改めて感謝申し上げます。

外国語学習にチャレンジしましょう!!

留学生 Willie Costello
(日本語)



私は2006～2007年にピッツバーグ大学から交換留学生として来日いたしました。昨年度の日本語成績優秀者賞をいただいて本当に光栄に思っています。留学中に受けた教育のおかげで日本語能力が向上したことは実にうれしいことでした。

There were many aspects of my classes that were especially helpful in teaching me Japanese. One of my favorite class activities was writing assignments. I wrote many different kinds of essays for my class, and each essay helped me find new ways to express my thoughts and feelings in Japanese. I also enjoyed reading assignments, especially when the material was new and challenging. Many of our classroom activities were also very fun? we watched movies, played games, and gave presentations. Learning a foreign language can be very entertaining, and the teachers at Konan University made my experience fun and exciting.

Learning a foreign language does not only occur in the classroom, however. In order to truly learn Japanese, I had to challenge myself both inside and outside of school. During my fall semester at Konan University, I started reading Japanese books on my own outside of class. I started with shonen manga, and by the end of my stay I was reading nonfiction academic essays in Japanese. It made me very proud to be able to use my knowledge of Japanese to learn new information and understand others' points of view.

I hope to continue to use my knowledge of the Japanese language throughout my academic career. My interests lie primarily in the fields of philosophy and linguistics, especially in the interface between the two disciplines. I am particularly interested in the theories of the structure of language and how people understand language. My experience learning Japanese has given me great insights into these questions and will always play an important role in how I respond to these questions in the future.

I would like to thank Konan University again for selecting me for as last year's outstanding foreign student, as well as giving me the opportunity to write in this magazine. And to all the foreign language students reading this, best of luck in your studies!

外国語科目・日本語科目優秀賞制度のお知らせ

国際言語文化センターでは、「外国語科目」「日本語科目」に優秀な成績を修めた学生（留学生）に対して、『優秀賞』を授与しています。

対象となる学生は、学部学生にあっては、3年間以上在学し、3年次終了までに中級・上級の外国語科目を一定以上修得した者、留学生にあっては、Year in Konan Program で留学し、秋学期・春学期に一定の単位を修得し、かつ、成績が一定以上である者ということになっています。優秀賞を目指して1年次より外国語科目の学習をがんばって下さい。

1. 趣旨及び目的

学生に対して、外国語学習を奨励し、学生の外国語学習意欲及び外国語のレベルを高めるために、外国語科目として総合的に優秀な成績を取得した者を表彰する。

留学生の日本語学習についても、同様とする。

2. 選考対象者

選考の対象となる者は、次の①に該当するものとする。

① 本大学に3年間以上在学し、3年次終了までに次の単位をすべて修得している者。

中級英語 2科目（8単位）以上

上級英語 1科目（4単位）以上

中級の第2又は第3外国語 2科目（8単位）以上

上級の第2又は第3外国語 1科目（4単位）以上

海外語学講座Ⅰは英語の中級科目として、海外語学講座Ⅱは第2又は第3外国語の中級科目として取り扱う。

3. 選考対象科目

3年次終了までに修得したすべての外国語科目（基礎外国語科目を除く。）を対象とする。

4. 選考基準

優を5点、良を3点、可を1点とし、3年次終了までに修得したすべての外国語科目（基礎外国語科目を除く。）の合計点により、上位30名を表彰する。なお、どの言語を第2外国語として履修したかは考慮しない。

5. 優秀賞制度選考者の発表

選考された者に対する表彰は6月に行なう予定である。

6. 補則

日本語科目については、別に定める。

日本語科目

1. 趣旨及び目的

学生に対して、外国語学習を奨励し、学生の外国語学習意欲及び外国語のレベルを高めるために、外国語科目として総合的に優秀な成績を取得した者を表彰する。

留学生の日本語学習についても、同様とする。

2. 選考対象者

選考の対象となる者は、次の①及び②に該当するものとする。

- ① 本大学の Year in Konan (YIK) Program に留学し、秋学期・春学期ともに日本語科目を履修し各学期に10単位を修得した者。
- ② 各学期のどちらかで、最終成績を90点以上を取得した者。

3. 選考対象科目

本学で履修した日本語科目のみを対象とする。

4. 選考基準

次の①～④の合計点により、上位1名を表彰する。**最高点**を15点として算出する。

- ① 90点以上の成績取得者に対し各学期**5点ずつ**を与える。
- ② 日本語能力検定試験で3級以上、漢字検定試験で8級以上などを取得した者に**2点**を与える。
- ③ 日本語コース主催の日本語に関するコンテスト（スピーチや作文コンテスト）で1点を与える。
- ④ 選考審査委員会が評価対象と認めたもの、例えばジョイントセミナーに全出席など何らかの証明がある場合には2点を与える。①～④の基準で同点者が出た場合には、審査委員の協議によって決める。
- ⑤ 2007年度は①～④の選考基準で行なうが、以後、必要に応じて改定を加えていく。



2007年度外国語科目優秀賞表彰式